

平成28年10月31日

各位

阿蘇神社宮司 阿蘇治隆
(あそ・はるたか)

「阿蘇神社社殿復旧工事安全祈願祭」ご挨拶

このたびの熊本地震において、多くの方が被災されましたこと、心より御見舞い申し上げます。

ただいま、4月16日の熊本地震本震によって被災した社殿を復旧する工事の安全と、熊本地震からの一日も早い復興を祈る神事を執り行いました。熊本県や阿蘇市、また工事関係各位からもご参列を賜わりまして、意義ある神事を執行できましたこと、誠に有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、ご心配いただいております復旧工事が、広く皆様のご支援とご尽力により、お陰をもちまして11月1日から本格的に着工する運びとなりました。

神殿をはじめ国指定重要文化財6棟は、行政側のご支援により国庫補助事業として7年かけて行うことになりました。特に全壊した楼門の復旧は、非常な困難をともしませんが、ここに文化財建造物を修復する英知が結集され、その高い専門技術をもって必ずや復旧がなされるものと期待しています。

また、拝殿等その他の社殿につきましては、いまだ復旧の目処が立っていませんが、先行して解体工事を行うことにしました。国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」など、祭りを行う環境として不可欠な社殿ですので、できるだけ早い復旧を目指して全力で取り組んでまいります。計画の目処が付いた段階で計画をお示ししたいと考えています。

この復旧事業が後世に誇れる有意義な事業となるように、地域における心の拠り所として、また文化的役割も果たしながら、復興への貢献を意識した取り組みにして行きたいと思っております。